

令和7年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・外国語指導員や友達とコミュニケーションを通して気持ちや考えを伝え合う活動を中心に授業を展開したことで、外国語での表現に慣れるとともに、相手の気持ちや考えを想像しながら聞くことができた。
- ・外国語を取り入れた多様な活動を積極的に取り入れ、題材に対する興味・関心を高めたことで、聞くことや読むことの力がついた。また、ICT を活用してスライドやカードなどを作り、それらをもとに発表する力を身に付けることができた。

(2) 課題

- ・アルファベットを正しく「書く」力に課題が残った。内容や表現を大まかに聞き取ることはできたが、アルファベットの音と文字と結びつけることが必要であると感じる。・活動全般にゲーム的な要素を加え、楽しく学習できるようにしたが、学びのめあてが明確ではなかった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第6学年	△	(第5学年時実施なし)	(第4学年時実施なし)

(2) 分析(観点別)

①高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると、大幅に上回った。	・目標値と比較すると、大幅に上回った。	・外国語でのコミュニケーションを楽しみながら表現しようとしているが、難しい表現への苦手意識からか、活動によっては意欲が低い感じることがある。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字を結び付ける活動に力を入れ、高学年での外国語学習につながるようにする。	・日本と外国との生活や慣習、文化などのちがいに触れながら、調べてまとめたり、発表したりする力を伸ばしていく。	・さらにコミュニケーションの楽しさを感じられるように、ペアやグループ・クラス全体での活動に工夫して取り組んでいく。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ICT を活用した文字入力だけでなく、四線に気を付けて自分でアルファベットや単語を書く活動を確保する。・常時活動としてアルファベットを書いたり、ALT の発音するアルファベットを聞き取ったりする活動を設定し書く力と聞く力を高める。・聞き取ったアルファベットを正確に書くような活動を増やし、「聞く」力と「書く」力をバランスよく高める。	<ul style="list-style-type: none">・自分が伝えたい内容について、文や言葉を選んだり、表現を工夫したりして、相手に伝える場を多く設定する。・やり取りするコミュニケーションの楽しさを味わわせるため、外国語でのリアクションについて触れながら活動させる。	<ul style="list-style-type: none">・基本の表現や単語でつまづかないように、何度も言ったり聞いたりする活動を通して丁寧に指導する。・児童が会話の中で困ったときの手がかりとなるよう、大切な表現を板書や電子黒板で示すことにより、自信をもって取り組めるようにする。・書いたり聞いたりする学習活動を何度も繰り返し取り組み、成功体験をもたせる。